

第10回 町並み飛脚レース要項

大会要項

飛脚部門と仮装（コスプレ）部門を設定、各部門1チーム5人編成で国の重要伝統的建造物群保存地区『吉良川の町並み』内に設置した、五カ所の『関所』を駅伝で巡り、本部の設定した競技時間（未発表で競技終了時に発表）と参加チームが完走した予想時間の近似値を競う競技です。

☆ 競技内容

（飛脚部門）

- 小学生の部と中高一般の二部を設定します。
チームの編成は5人一チームとして、年齢・性別は問いません。
小学生を交えたチームは一般チームとします。
- 駅伝形式のタイムトライアルなスタンプラリーです。各チームは町並みに設置した関所を、本部の指定したコースマップで巡ります。関所では役人が出す問題を解決して次の走者に交代し、チームで5区間を完走します。
関所を巡るコースは本部指定コースの道順でなく、近道をしてよいが関所は本部の指定通りの順番で回る事とします。
- レースの順位は、各チームの完走時間と本部が設定した時間の差が少ないチームから順位を付けます。
時間差が（+）と（-）で、同タイムが出た場合はゴールの着順を優先とします。
- レースコースは A～C（参加チームが多い場合は“D”を用意）までのコースを用意し、それぞれのチームに振り分けます。関所での対応は各コースとも同じです。

（コスプレ部門）

- 5人一チーム編成でとして、年齢・性別は問いません。
- チームで吉良川の町並みを自由なコースでパフォーマンスしながら最終審査会場の御田八幡宮境内を目指して各関所を巡ります。町中でのパフォーマンスも審査の対象にします。
- 11時からの御田八幡宮境内で10分程度のパフォーマンスでコスプレ部門の最終審査として順位を決定します。
- それぞれの部門の1～3位のチーム、コスプレ部門の審査員特別賞(個人)には、賞金・賞品がでます。**(小学生の部には賞金なし。)**
そのほか、全参加チームには参加賞を用意しています。

【 レース注意事項 】

（飛脚部門）

1. 関所の名称は吉良川まちなみ館を『第一関所』、西町集会所を『第二関所』、岡崎

鮮魚店前を『第三関所』、東町集会所を『第四関所』、御田八幡宮を『第五関所』として、設営場所は『町並み』区域内に置きレースマップに記載しています。

2. 今年度は、前回までの村戸歯科駐車場の関所は特別関所として「賞品の釣堀コーナー」を設置します。1チーム代表者（指定された区間走者）が通過する際に賞品番号の入ったペットボトルを吊り上げ表彰式に賞品(参加賞)を受け取る。
3. 大会コースは A～C までの 3 コースを設定し、各チームに振分けます。
参加チームは本部の指示書（コース図）に記載された順に関所を回ります。
※ コースは地図の指示通りでなく近道をしていても良いが、関所は必ず指示書の順番通りに回る事とします。
4. 各区間の走者は関所での難問に挑戦し、解決出来たら通過印をもらい次の走者に交代して、スタート地点の小学校に戻り受付時に配布した『クーポン券』で接待を受ける。去年は『イモ天とココア』でした。
5. 各関所で待機する区間走者は前走者と交代するまでは、関所が混雑し選手の対応が出来なくなるため必ず後方で待機すること。
6. 関所の役人が容易に走者を判別できるよう胸元の良く見えるところにゼッケンの色布を必ず付けてください。

(コスプレ部門)

1. チーム編成は 5 人で年齢・性別は問いません。
2. チーム名のプラカード掲げ、各関所・町中に於いてパフォーマンスしながら最終審査場に向かいます。
3. 順位設定は、持ち点 30 Pt の審査員 6 名と、持ち点 10 Pt の各関所の合計点数で順位を決定します。各関所へ移動中の町中におけるパフォーマンスも審査の対象として最終審査に加算します。
4. 審査員特別賞の選定に個人が容易に判別できるよう胸元の良く見えるところにゼッケンの色布を必ず付ける事。

※ レース中の安全を確保するために、各所に警備員を配置します。
参加者は十分気を付けて競技して下さい。競技中の事故についての応急処置は施しますが、その後の責任については主催者側の一切の責任は負いません。
但し、参加者には一日傷害保険に加入しておりますので、その範囲での対応は致します。

【 表彰式 】

レース終了後に小学校体育館において表彰式を行います。
表彰状の授与はありませんが、各部門の一位から三位までには賞金と副賞があります。
また、コスプレ部門には審査員特別賞がおくられます。ただし小学生の部の賞金はありません。